

SOTOASOBI



遊び場をつくらう



自分たちで遊び場をつくる。

そんなふうに見えるけど、とても大きなことに思う方もいらっしゃるかもしれませんが、でも、楽しい遊び場は身近な環境を利用して、自分たちでつくることもできます。

たとえば、近くの空き地が冬になると落ち葉でいっぱいになっていたりします。持ち主の方の許可を得て、落ち葉遊びを近所の子ども達を集めてやってみて、落ち葉の片付けまでやってみる。これだけでも立派な遊び場です。

まず是可以ることから少しずつ、子ども達が自由に遊べる遊び場ができていくといいですね。自分たちの住みやすいまちをつくる感覚と似ています。



遊び場づくりの第一歩


 GREETING

あいさつしよう

公園で出会う人とあいさつしましょう。地域の人、遊びに来ている人、散歩に来ている人、犬の散歩の人、公園を清掃する人、遊具の点検をする人、公園を管理する人など様々な人と知り合うことが出来ます。まずは、あいさつから。


 PLACE

場所はどやって見つけるの？

家の近所を散歩しましょう。乳幼児の場合だと家から歩いて行ける遊び場が理想だと思います。小学生になると、自転車での移動も可能ですが、やはり家から歩いて行ける場所の方がいいでしょう。


 FRIENDS

仲間を見つけてよう

遊び場をつくりたいと思った時が、まさにその時です。まずは、自分の思いを知りあい話してみましよう。そして、遊び場をつくることに協力してくれる仲間を見つめましよう。同じ思いを持った人は、必ずいます。そうしたら、あとはアイデアを出し合って、みんなの力も借りながら、遊び場づくりを進めていきたいと思います。